

ビジネス・プロセス・イノベーションが生む博物館の DX 推進

大石 将平^{†1}, 大江 秋津^{†2}

キーワード: ビジネス・プロセス・イノベーション, DX, 博物館

1. はじめに

ポストコロナ社会において、博物館はこれまでの体験型展示やイベントといった展示や運営手法の見直しを余儀なくされている。博物館が社会的使命を果たし、今後も存続していくための解決策の一つとして、博物館の DX 推進がある(山崎, 2020)。本稿は経営学の観点から、博物館の DX を推進する要因としてビジネス・プロセス・イノベーションを挙げ、影響とメカニズムを実証することを目的とする。

2. 理論と仮説

ビジネス・プロセス・イノベーション(以下 BPI)とは、「1つ又は複数のビジネス機能についての新しい又は改良されたビジネス・プロセスで、その企業の以前のビジネス・プロセスとはかなり異なり、かつその企業によって利用されているもの(OECD, 2018)」のことである。博物館における BPI の効果として、Camarero, Garrido, and Vicente (2011) は博物館の諸活動のパフォーマンスに正の影響を与えることを実証している。

博物館における DX の主な例として、収藏品・展示品のデジタル化や「バーチャル博物館」がある(山崎, 2020)。実際に海外の博物館では、デジタル化により博物館の収入が増加し、寄付金への依存度を低下させた例が報告されている(Alshawaaf and Lee, 2021)。博物館が DX を推進するためには、組織内部にある知識を共有し、新しい知識を吸収するために博物館以外の専門知識を持つ人材を獲得することが考えられる。これが博物館における BPI といえる。

しかし、博物館の多くは中小規模で、限りある経営資源の中での人材の獲得や先進技術の開発は難しい。そこで、外部の企業や組織との連携による DX の推進が考えられる。日本でも企業が博物館の DX を推進する動きがあり(ミュージオ, 2021)、以下の仮説を提示する。

仮説1: 博物館のビジネス・プロセス・イノベーションは、博物館における DX を促進する。

仮説2: 博物館のビジネス・プロセス・イノベーションは、他組織との技術導入に関する連携を促進する。

仮説3: 他組織との技術導入に関する連携は、博物館における DX を促進する。

3. データと分析手法

データは、全国の博物館に対して独自に行ったアンケート調査の回答結果を利用した。調査期間は 2021 年 9 月 23 日から 2021 年 11 月 30 日、送付数は 2,048 件、有効回答数は 496 件で、回答率は 24.2%である。本稿では設置者の特性による違いを考慮し、公立博物館のみを対象に分析を行った。分析件数は 397 件である。分析手法は最尤推定法による共分散構造分析を用いた。

4. まとめ

本稿には 2 つの主要な貢献がある。まず、BPI が DX に与える影響の実証である。DX をいかに広く社会に普及させるかは企業や国の重要課題であり、本稿が DX 推進には BPI と他組織との連携が重要であることを実証したことは、経営学のイノベーション論における理論的貢献と、DX 推進への実務的貢献といえる。

次に、博物館の DX 推進について、アンケート調査の結果から実証分析を行ったことである。先行研究はケーススタディが多く、今回の実証結果は中小規模の博物館においても DX 推進には BPI と他組織との連携が重要であることを示すものであり、博物館経営への実務的貢献といえる。

参考文献

- [1]山崎新太:「【ポストコロナのローカル DX 戦略～時空を超える公共サービスの可能性～】第 6 回 博物館サービスの DX」, 日本総研, <https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=36885> (最終閲覧日: 2022 年 2 月 25 日)。
- [2]ミュージオ株式会社:「ミュージオ, 博物館・美術館の DX を支援する「博物館 DX パッケージ」を提供開始」, @Press, <https://www.atpress.ne.jp/news/261846> (最終閲覧日: 2022 年 2 月 25 日)。
- [3]Alshawaaf, N., and Lee, S. H., “Business Model Innovation through Digitisation in Social Purpose Organisations: A Comparative Analysis of Tate Modern and Pompidou Centre,” *Journal of Business Research*, Vol. 125, pp. 597-608 (2021).
- [4]Camarero, C., Garrido, M. J. and Vicente, E., “How Cultural Organizations’ Size and Funding Influence Innovation and Performance: The Case of Museums,” *Journal of Cultural Economics*, Vol. 35, No. 4, 2011, pp. 247-266 (2011).
- [5]OECD and Eurostat, *Oslo Manual 2018: Guidelines for Collecting, Reporting and Using Data on Innovation, 4th Edition*, The Measurement of Scientific, Technological and Innovation Activities, OECD Publishing, (2018).

^{†1} 東京理科大学大学院経営学研究科 修士課程

^{†2} 東京理科大学経営学部准教授